

広報

ふじかわ



町のメモ

平成3年1月1日現在	
人口	17,641人
増減	-1人
男	8,655人
女	8,986人
世帯数	4,726世帯
面積	30,92km ²

1月号

●平成3年1月5日発行 No.354

富士川町 企画調整課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩瀬 121

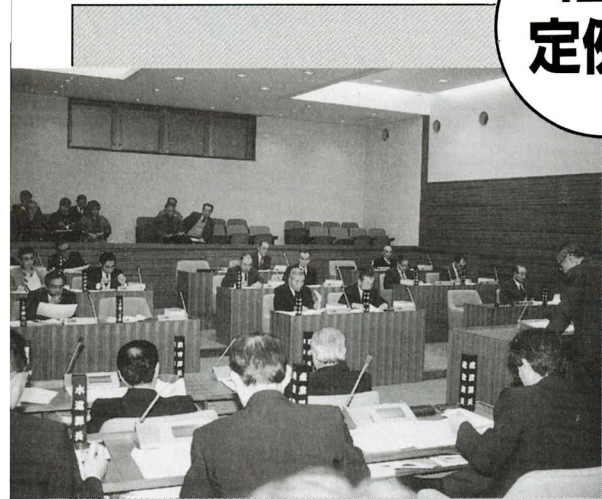


わあ〜い
おもちをついたんだよ

(町立第一幼稚園)

町のことしの目標 「自然と心ゆたかな町づくり」

新議場で初めての議会



可決された提出議案

- ◆富士川町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆富士川町特別職の職員で常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆富士川町教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例
- ◆富士川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◆単純な労務に雇用される職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ◆平成2年度富士川町一般会計補正予算
- ◆平成2年度富士川町国民健康保険特別会計補正予算
- ◆平成2年度富士川町水道事業会計補正予算
- ◆平成元年度庁舎増築改修工事変更請負契約の締結
- ◆平成2年度農免農道中之郷地区工事変更契約の締結
- ◆平成2年度富士川由比線道路災害防除工事変更請負契約の締結
- ◆町営土地改良事業計画の変更
- ◆県営土地改良事業の施工に伴う分担金
- ◆北方領土早期返還に関する要望決議

新春を迎えて

二十一世紀を展望できる町づくり

富士川町長 常葉雅文



新しい年を迎え、謹んで心からお慶びを申し上げます。昨年を振り返りかえってみますと、激動の一年であったかとおもいます。特に東西ドイツの統合・湾岸危機と世界の眼は中東にむけられました。

このような情勢のなかで当町をとりまく環境も非常に厳しいものがありました。新たな視点で健康で清潔な、おもいやりのある福祉、そしてうるおいのある町づくりなどを重点とした諸施策や事業を遂行してまいりました。

さて、心新たに新年を迎え二十一世紀を展望できる町づくりに、町民のみなさんと共に英知を出しあって、積極的に施策の遂行に努力をしていく覚悟であります。

現在、平成三年度の予算編成作業を進めておりますが、国・県の動向を見極めながら財政の健全化を基本姿勢とし、第二次総合計画における基幹事業としての総合体育施設の建設へむけて、高齢化時代に対応しつつ福祉機能の充実を

目指す地域福祉センターの建設及び町民生活の充実と懸念事業を推進するとともに、町民のみなさんの要望を的確に把握し、施策に反映していきたいと考えております。

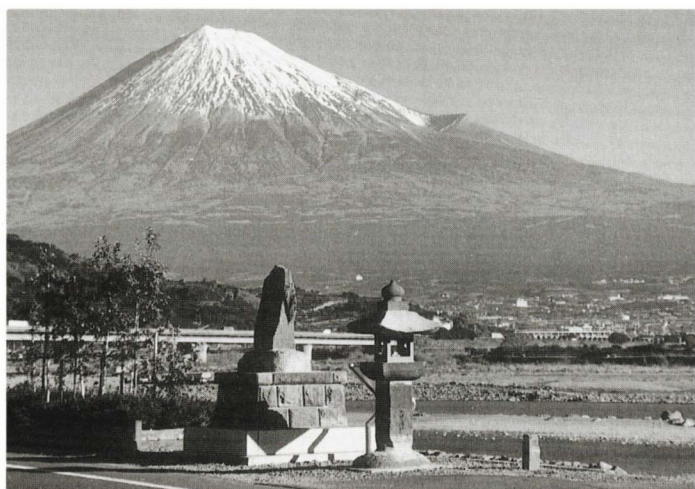
本年は、明治三十四年町制施行・昭和三十二年町村合併以来、町制九十周年、及び合併三十五年の記念すべき年にあたりますので、今日の富士川町の基盤を築きあげてきた先人の業績の労苦に深く感謝するとともに、将来へ向けての展望にたち、町の特色を生



かしながら「記念事業」を展開していきたいと思っております。私は、健康管理も併せて公務後、また、休日によく町内を散歩しておりますが、その際、街並の間から、そして木々の間から目に映る富士山、富士川の景観や眺望に自然の雄大さを改めて感じます。ことしの目標も本年から「自然と心ゆたかな町づくり」と決まりました。

私も「心」と「自然」の豊かさにはぐくまれた二十一世紀を展望できる諸施策を町民のみなさん共々推進していく所存であります。

年頭にあたり、健康で明るいご家族のご多幸をお祈り申しあげるとともに、私は自らに課した課題にむかって全力を尽くしますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



「日本というと、何を連想しますか？」と外人のみなさんに尋ねると返ってくる答えの大半が『富士山』ではないでしょうか。

江戸時代、岩渕が東海道の要所として、通船や渡船で繁栄した時、富士川越えの富士山の景色は、東海道を旅する人々の心を慰めたことと思います。

そこで、富士山と富士川の景観を生かした町づくりが計画されています。10年後、20年後の子供や孫たちに素晴らしい贈り物ができるように、日本一だと誇れる景観を再認識しながら、これからの町づくりをみなさんといっしょに考えていきましょう。

富士山と富士川の
景観を生かした町づくり

ふるさと富士川 第二集 昔ばなし伝説から

―富士川の古老のはなし―

富士川といえますのは、富士山から流れてくる川で大きな流れの早い川です。この川の近くで、古くから住んでいる老人から聞いた話です。

或る年のことです。他所に出かけました。その日はひどく暑い日でした。余り暑いので、富士川のほとりに来て涼をとりにながら川の流れをみておりますと、川上の方から黄色いものが流れて来て、物に引っかかって止まりました。なんだろうと思ひ、拾い上げて見ますと、それは反故（ほぐ。書きそこなったりして、不要になった紙）でした。さらによく見ると黄色い紙に、朱筆で美しくきれいに文字がしたためてありました。

不思議に思ひ、これを読んでみますと、長年国司の新任されるはずの国々のことが、まるで除目（おもく。県名、国名という地方官、京官の任命の書）のように全部書いてあって、この駿河の国が来年交替予定であり、新任の国司があててあり、そこには一名であるべきなのに二名が書き添えてありました。妙なことだと半ばあきれながら、この紙を取り上げて乾かして、しまっておいたところ、翌年の国召し（国司の交替）には、この紙に書かれたことが、一つも違わずにあたって、駿河の国の守とあつた人がそのとおりに任命されました。この人は三ヶ月のうちに亡くなってしまい、次に任命された人も、紙の傍に書き添えてあつた人でした。

こんな不思議なことがありました。してみますと、来年の国召のことなどは、今年この富士山に多くの神々が集まって決められるらしいと思ひました。まったく珍しいこととございます。と、都人と申して、私達に老人は話してくれました。

解説



この記事は「更級日記」（作者は菅原孝標の女、康平二年（一〇五九）以後の一〜二年間に成立）からの抜粋です。

作者は、父の任国上総で育ち、十三歳の時、上総から京に行く途中のことを、後年書いたもので、この富士川の古老の話も旅の思い出の一つでした。

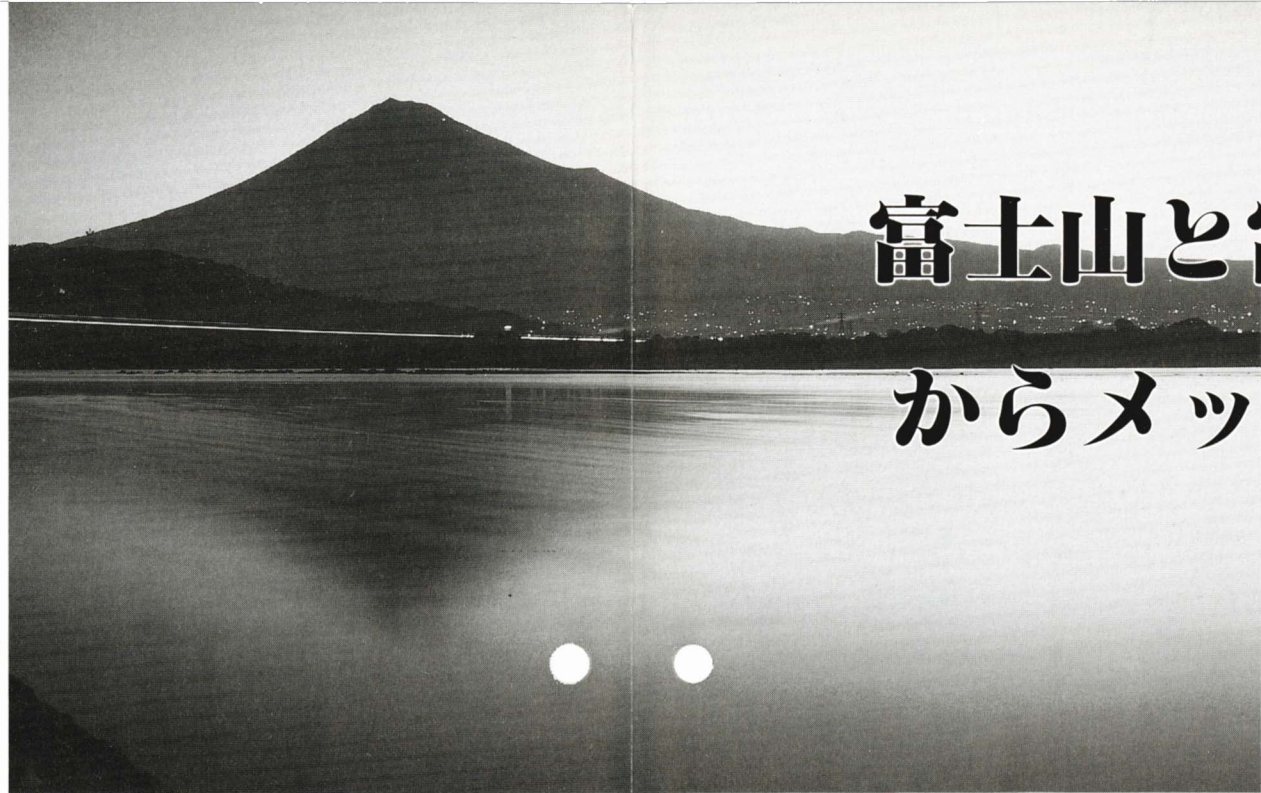
この話は、古代において富士山の神秘性から、国司の任命には神々が富士山に神集いして決めるという。この地方に伝わる神話的な話を伝えたのですが、朝夕、富士を眺め、富士川に接する郷土のゆかしい話です。



このように、昔から人びとは季節によって、また朝と夕とで姿を変える富士を仰ぎながら暮らしてきました。その富士の影を映す富士川の景観。現在も続いている四季おりおりの富士川での行事。この美しく、素朴な富士川町の風景は、私たちに新しい何かを提案し、発信しているように見えます。この素晴らしい風景を生かし、富士川町を情報発信基地にしたいですね。

富士山と富士川 からメッセージを きこう！

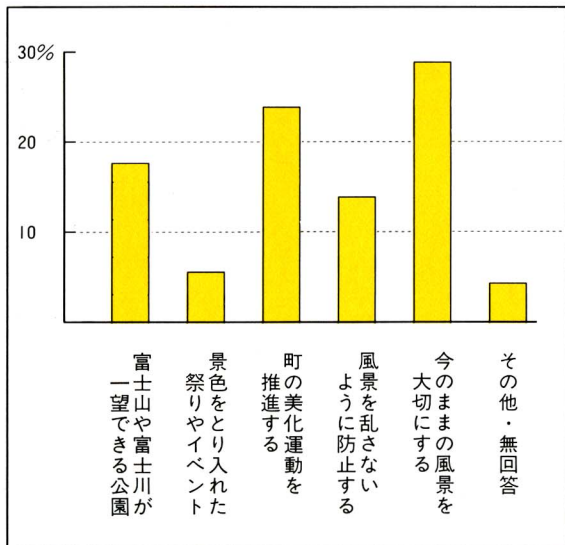
アンケート
調査の結果



景色を生かした 町づくりに期待すること

富士山や富士川の景色を生かした町づくりに期待することでは、「今のままの風景を大切にすることが三〇%」、「ビルや団地等の建設によって、風景を乱されたくない」一四・三%と合わせて、半数近くになっていきます。これは、二人に一人の人が今の風景を守るために、規制を考えた方がよいと思っています。

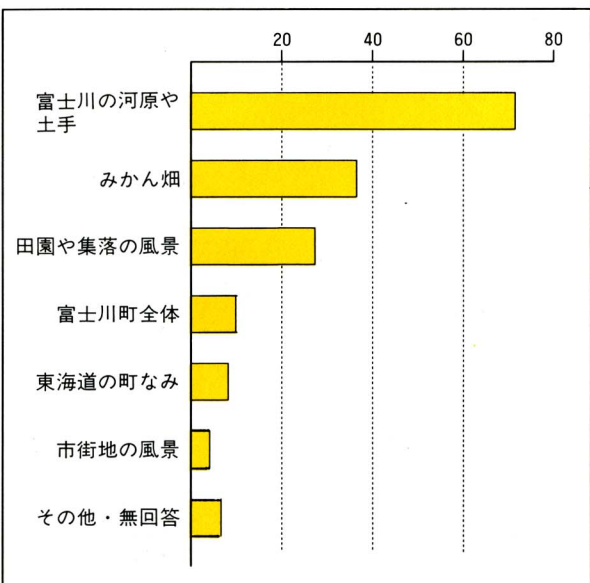
また、「まちの美化運動を推進する」も二四・三%と多く、自分たちの手で自然を守ることがも考えています。



富士川町にあるもので、富士山や富士川の景色とマッチしていることをたずねました。

二つを選択した結果ですが、「富士川の川原や土手」七三・三%、「みかん畑」三五・五%、「田園や集落の風景」二七・五%の順になっています。この景色は日常的に慣れ、気づかない面がありますが、富士山や富士川の景観への愛着は、強くなっています。

富士山や富士川に マッチしているもの

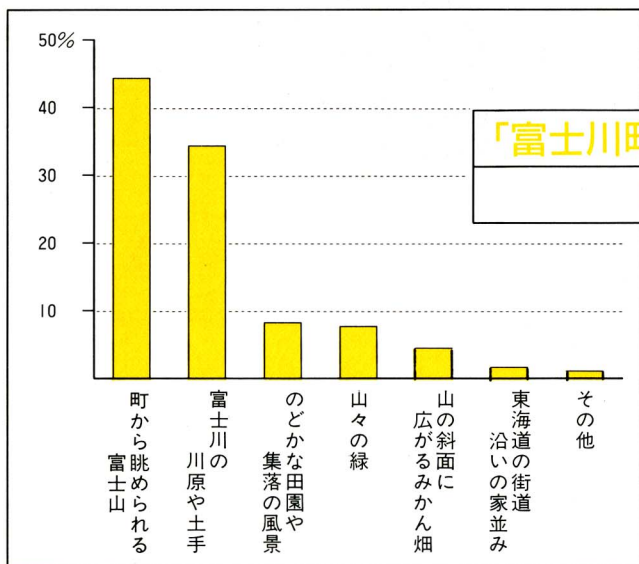


調査をおおえて

町民のみなさんが、富士山・富士川の眺めを最も美しいと感じていること、それ以上に富士山・富士川を通じて、富士川町に住む誇りや、郷土愛などを感じていることがわかりました。

町では、これからもみなさんの意見や提言をお聞きしながら、「富士山と富士川を生かした町づくり」を進めていきます。ご協力をお願いします。

「富士川町らしさ」 を感じる風景



富士川町の風景で、最も富士川町らしさを感じる風景を答えてもらいました。

「町から眺められる富士山」がトップで四四・五%、次に「富士川の川原や土手」が三五・五%、この二つを合わせると八〇%の人が、富士山・富士川を最も富士川町らしい風景と感じています。富士川町をイメージする時、富士山や富士川など、自然に恵まれた環境のよさは、欠かせないものです。

このアンケート調査は

① 調査の目的

町では、「日本一美しく見える富士山・富士川を生かしたまちづくり」を進めています。そこで、町民のみなさんに、町の風景や富士山・富士川との関りについて、意見や考え方をお聞きし、今後のまちづくりの資料とするため、昨年の十一月にアンケート調査を実施しました。

② 調査の対象者

平成二十二年十一月一日現在において、町内に住んでいる十五歳以上八十五歳未満の方（五百人）を、住民基本台帳より無作為抽出しました。

③ 回収状況

対象者数 五〇〇
有効解答数 四〇〇
有効回収率 八〇%

生涯学習推進の抱負

富士川町教育長 中村 助次

一、教育課程の基準の改善に
 ともない幼小中の新しい教育
 内容実施への準備、移行措置
 等の実践の充実を期すと
 共にその理解啓発に努めたい。

(1) その中で特に中学校授業への
 コンピューター導入につい
 ては四十三台を計画し、平成
 三年に準備を完了し平成四年
 に設置をし、平成五年から授
 業に導入し新時代対応への基
 礎を育成したい。

(2) 中学校選択教科等の拡大と
 幼小中共に個性を重視した教
 育方法の一層の改善、心の通
 い合う指導法への充実を含め
 福祉教育の拡大を図っていき
 たい。

(3) 月一回二回の学校五日制
 への対応の研究並びに教育課
 程の精選等、施行にむけての
 方策の研究を深めていきたい。

二、町制九十、合併三十五周

年記念の町教委主体の文化、
 体育的行事の実施、従来の基
 幹行事の記念的色彩の導入と
 節目として内容の見直し改善
 等、教育委員会会議を経て実
 施内容、方針等を決めていき
 たい。

三、富士川舟運と関係の深い
 塩の道サミットを、富士川町
 鵜沢町、高遠町と連携し近隣
 市町へも案内し、舟運並びに
 街道交通等の内容を本町で開
 催したい。できれば実物大
 の高瀬舟の復原もしてみたい。

四、生涯学習、体育スポーツ
 振興充実の為に、現在進めら
 れている総合体育施設建設へ
 むけて全町の企画の中で教育
 委員会の立場を自覚し、鋭
 意努力していきたい。

更に誰でも気軽にできるス
 ポーツの普及に努めたい

五、最後に、将来の夢、新年
 の夢として、二つ述べてみた
 い。

(1) 町単独で無理なら庵原三
 町協同で、外人の英語講師を
 雇い、中学校の英語授業の補
 助の指導を四中学で行うこと共
 に、余裕があれば、幼小へも
 交流の機会を持つて国際感覚
 を深める機会にしてみたい。

(2) 今、全国的に問題となっ
 ているのは、学校不登校の児
 童生徒の対策である。本県中
 部本町においても然りである。
 これは決して非行ではない。
 悩みつつ登校できない児童生
 徒に対して郡内協同で、小さ
 くてもいいから指導センター
 を作り、教育事務所、各学校
 との連携援助を得て相談、指
 導の補助的役割を果たしたい
 という念願であります。



- 【1月】
- 13日(日) 新春ふじかわ寄席 祝 成人 第27回富士川駅伝競走大会
 - 15日(火) 第40回富士川町成人式 新春パーティー
 - 23日(水) 県立大学特別公開講座 (国際化と異文化)
 - 24日(木) 県立大学特別公開講座 (日本人の季節感)
 - 26日(土) 県立大学特別公開講座 (静岡県的人物史) 二小マラソン大会
- 【2月】
- 2日(土) さくら台幼マラソン大会
 - 3日(日) 庵原郡駅伝競走大会
 - 6日(水) 県立大学特別公開講座 (国際化と異文化)
 - 7日(木) 県立大学特別公開講座 (日本人の季節感)
 - 9日(土) 県立大学特別公開講座 (静岡県的人物史)
 - 20日(水) まきの木大学学習発表会
- 中央公民館の休館日 (図書室も同じ)
- 1月 20日・21日・28日
 2月 4日・11日・12日
 17日・18日・25日



海のむこうから来た先生と いっしょに遊んだよ

第1幼

町立第一幼稚園(望月君子園長)に十二月十三日(木)、外国人の英語指導講師のポール・バドナー先生(アメリカ)とジェイニー・マジェリソン先

生(カナダ)が訪問されました。二人の先生は、園児たちから花束の歓迎を受けた後、園児たちと一緒にフォークダンスやもちつき、みかん狩りをして楽しい一日を過ごしました。特に、もちつきはPTA役員の皆さんの協力で行われ、ポール先生は慣れない手つきでもちをつき、ジェイニー先生は一生けんめいもちを丸め、初めての体験を楽しんでいました。

今回の訪問は、外国の人と直接ふれあうことにより、幼



フォークダンスを楽しむポール先生

稚園にも国際交流を広めようという目的で実現されたものです。園長先生は「子どもたちが、将来、外国に興味を示したり、外国人とのふれあうための良い経験になるのでは」と話していました。

宇多利母親クラブ 全国表彰を受賞

宇多利児童館を中心にして、十六年間に亘り地みちな活動を続けている宇多利母親クラブが、その活動を認められ、十一月十五日、石川県金沢市で開かれた全国母親クラブ連絡協議会から全国表彰を受賞しました。そこで、その喜びを同クラブ代表である浅場幸代さん(宮町)に語っていただきました。

私達宇多利母親クラブは、昭和四十九年八月に発足以来、宇多利児童館を拠点として十六年間活動してまいりました。この間、一人暮らし給食サービス、子供達の健全な育成の手助けとして夏のつどい、クリスマス会などを行い、又お年寄達と共に集う三世交代流行事などを行ってきました。これらの活動が認められ、今回全国母親クラブ連絡協議会より全国表彰を受けることとなり、会員一同大変喜んでおります。これも先輩方々の地道な活動、及び行政の母親クラブに対する協力と深く感謝しております。これからも、この受賞

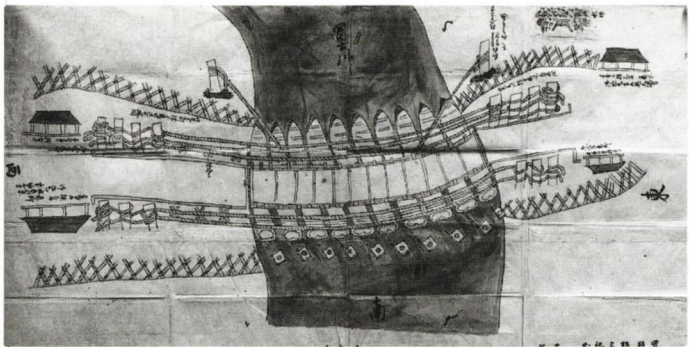


三世交代で、手打ちそばを作る会員たち

橋

今月は橋の話です。富士川に最初に橋が架かったのは、承和三年(八三五)のことでした。ここを往来する旅人の難儀を知り奈良大安寺の僧忠一が浮橋を架けたと史料にあります。

六八一(正徳元年)二七一(享保四年)一七二九(寛延元年)一七四八(宝暦十四年)明和元年一七六四(の六回、船橋が架けられたことが史料によって知ることが出来ます。ここに掲載した写真は、天和二年八月、五代將軍徳川綱吉就職慶賀の際に架けられた船橋の絵図です。



実際は28艘の船が並ぶ(国立史料館蔵)

時代は下り江戸時代になると、朝鮮使節のたびたびの来朝に際して船橋が架けられます。しかし、常時架けていたわけではありません。この様な特別の場合を除き、平時は渡船を行っていたからです。朝鮮使節は慶長十二年(一六〇七)が最初で文化八年(一八一)まで十二回続き、その内十回は江戸へ行き、少なくとも明暦元年(一六五四)天和二年(一

消費生活講座で

お正月料理をつくりました



手軽にできて、おいしいのが最高!

十二月十九日、保健センター調理室に四十人の主婦が集まり『かんたんに作れる正月料理』に挑戦。講師の齊藤和子先生は「身近な材料で簡単にできるものだから、お正月をみつめ直すためにも、みなさんのレパートリーの中に入れてもらいたい」と話しました。できあがった料理は、きれいに皿に盛りつけられ、会場に集った人たちは少し早いお正月料理を味わいました。

新消防団長に
望月敏雄氏が就任



新団長 望月敏雄氏



前団長 久保田敏男氏

永年、富士川町消防団長として火災などの災害から町を守るために活躍された久保田敏男氏(清水町)は昨年十二月三十一日付をもって団長職を辞任、同氏の後任に、副団長の望月敏雄氏(幸町)が一月一日付で就任しました。

町づくりに努力し「いきた」と抱負を語りました。また、昭和二十一年、松野村警防団に入団以来、今回の退団まで四十四年二カ月の長い間、消防一筋にご尽力された前団長の久保田氏に深く感謝するとともに、今後の一層のご活躍をお祈りします。

新団長となった望月氏は昭和二十八年に消防団に入団。副団長として十一年間柳下・久保田両団長のよき補佐役として、消防団の充実・強化に努めてきました。望月消防団長は「諸先輩がたの築きあげたものを守りつつ、火災のない住みよい

12月の交通事故

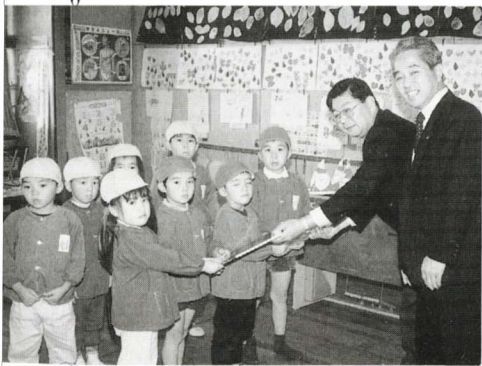
人身事故	15件 (9)	合計	29件 (21)
物損事故	14件 (12)		
富士川身延線	9件 (4)		
国道一号线	8件 (5)		
町道	12件 (9)		
県道	0件 (1)		
その他	0件 (2)		

() は昨年

日産自動車(株)から
童話と絵本が
寄贈されました

12月12日、日産自動車(株)吉原工場から町内の6つの幼稚園・保育園に絵本と童話、交通安全すごろくが寄贈されました。

これは、次代をになう子供たちの健やかで豊かな環境づくりを願って一人でも多くの子供たちに読んでもらうため、今回の寄贈となりました。園児たちは「ありがとう」と元気よくお礼を言った後、さっそく先生に読んでもらいました。



園児たちも思わずニッコリ!

障害者を地域で支える書践活動

体験作文で最優秀賞を受賞

第二小 増田寛教くん

『障害者を地域で支える実践活動』の体験作文で、第二小学校の増田寛教くんが最優秀賞を受賞し、十二月九日に

老人憩の家で開催された実践活動に参加しました。この作文は、この活動で感じたことや目の見えない人と出会った時の思いなどを綴ったものです。その作品を紹介します。なお、第二小学校五年・小関真由美さんの作品も、入選に輝きました。

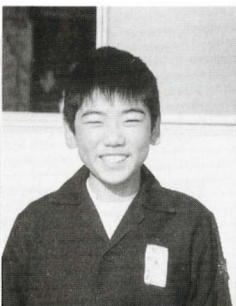
不自由な人に対する

本当の思いやり

ぼくは、太田利三さんの話を聞いて、本当に体の不自由な人がよるこぶことを知りました。それは、ぼくたちが「あの人はあそこが不自由なのか」と思い、自分とちがう所があると、じろじろ見てしまうこととはうれしくもなく、かえって自分は特別ななだと思ひ、イヤな感じを受けているようです。だから実さいにやる。手伝いをする。助けをする。例えば、目の見えない人には

声を出して案内したり、道を教えてあげれば、本当によるこんでもらえることを福祉の会で知りました。七月三十日のことです。ぼくは東京へ行つて、山手線のホームにいました。すると階段から、福祉の会の時に教えてもらったぼうを左右に動かしながら来る、一人の眼の見えない人に出合いました。その人は自動販売機やホームにある売店のかべなどにあたりながら来ました。ぼくは「この時こそ」と思い、かけよりました。そして、声をかけようとしたが、声が出ませんでした。勇気が出ませんでした。心の底では「どこまで

行くのですか」と言おうと思ひながら待ち受けていました。しかし、いざとなつて行つてみると、回りの人からの目線が、ぼくを注目しているように感じられ、意識してしまひできませんでした。その人はそのまま、ぼくの横を通り過ぎて行きました。ぼくは電車の中で「あの時になんでやらなかったんだ。べつに悪いことをやっているわけでもないのだから、人の目なんて、気にすることなかったのに」と思い、なぜか心臓がドキドキしていました。こうやって終つてみると、いろいろ言えます。考えられます。しかし、結果は最初



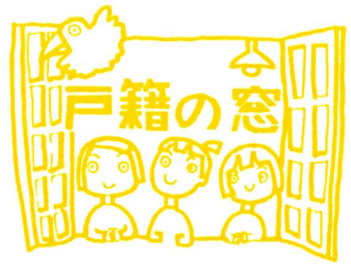
増田寛教くん

書いた「イヤな感じ」を出合つた目の見えない人は、受けたのかもしれない。ぼくはこの場面で太田先生から聞いた「言うことはかんたんだが、やることはむずかしい」ことがつくづくわかりました。しかし、ぼくにとつて、こういうことがいろいろ感じられた

り、思えたりしたので、いい経験でした。反省会の時、言葉がよく言えない人が言ってくれた「思いやり」をふだんの生活からとり入れて、いざとなつて出合つた時にも、とつさに福祉ができるようにしていきたいです。

富士川俳句会 (文協俳句会)

- 手の中に初日の出打つ俵せや
狙の凹さみしく歳はゆく
日蓮の給仕日和や冬桜
宗長像冬日にぬくむ茶臼据え
神還るひもろぎに来る雀どち
手を替てやつと大根抜きにけり
四つ溝柿鈴成りのまま暮れにけり
名も知らぬ押し花入れて障子貼る
散紅葉しどねとなりぬ日向山
町並に残る土蔵や返り花
落葉みち仏頂面して羅漢さま
落葉降る如来様への磴高し
友は留守水浴びてゐる寒雀
どこまでも青空立冬あたたかし
冬障子父の居眠る影濃かり
年賀状千支の羊が坐を占めり
数え日や母を偲ぶに五十肩
冬台風富士を聳たせて去りにけり
友逝きて無情の風の十二月
欽に力入れねば影も寒きかな
- 宮町 増井 冬木
旭町 笠井みち子
南町一 上野 君江
南町一 上野みつ子
南町一 田辺つぎ子
南町一 錦織 和子
新町 秋山みつえ
新町 早川 和子
本通四 小永井敦子
新町 山本まさ子
上町 大石 営子
幸町 影山 節子
南町一 佐野美代子
南町二 久保田恒子
南町二 宇佐美澄江
清水町 高橋 美恵
八幡町 錦織 信子
本通四 山上 鈴子
本通 篠根 次子
南町一 影島 智子



平成2年11月15日

12月14日届出分

すこやかに

区名	氏名	保護者	続柄
室町	望月実里	徹	長女
相生町	後藤あい	守	二女
川坂	辻 真之	幸範	二男
宮町	浅岡恭介	洋一	長男
宮町	浅岡俊希	明良	長男
宮町	守田枝理子	武刀	二女

小池	中安麻由	孝	三女
幸町	渡邊耕平	明夫	長男
中野台	浜村美美	承三	三女
大北町	小田優介	俊男	長男

かなしみ

区名	氏名	年齢
木島	角替 きわ	九五
相生町	太田 定藏	八四
新町	榎本みね子	三六
四十九町	堀畑 實三	五九
宮町	齋藤はる江	六四
大楽窪	遠田すゞ	七〇
東町二	關原 萬吉	九〇
南町二	押田 光子	五八
富士見町	小林ふみ子	八四
かきあな	佐野 げん	九一
八幡町	望月 貴女	六八
清水町	宇佐美峯雄	五七

屋の子 大田利三



一里塚



昨今、『交通事故多発』『交通事故死亡事故急増』という見出しが目につきますが、非常に恐ろしいことです。当町では、幸いなことに一昨年から死亡事故が発生していません。これはドライバークや歩行者の安全意識、警察の努力は無論ですが、カゲで地道に活躍されている人々がいます。皆さん、『民間交通指導員』をご存知ですか？こ

の方々は仕事の合間や休日
 を返上し、いかなる天候に
 もかわらず、早朝の通勤
 通学時間や各種行事の際に
 は町内を巡回し、私たちの
 安全確保のため尽力されて
 います。確かに交通事故は
 後を絶ちません。私たちが
 ドライバーク・歩行者として
 交通道徳を遵守することが、
 自らの生活を守り、この方
 々の労に報いることにもな
 るのでは……。街頭のどこかで見掛けま
 したら、「ありがとう」の
 一言をかけてみたらいかが
 でしょうか。
 (浦田盛之)

町への寄付金

(敬称略)

社会福祉事業へ

五万円 望月佳秋 (八幡町)

おわび

十二月号「新しい庁舎」の欄

で、建設課と産業課の配置を

逆に掲載しました。深くおわ

びし訂正させていただきます。

お母さんの
知恵袋

けんろう

ジュース

●レモンと梅酒

このジュースは、高血圧・貧血によく、寒い時は血行がよくなり、体が温まります。

〔材料〕

梅酒(五〇cc)、レモン大一個、蜂蜜小さじ二杯、水(七〇cc)

〔作り方〕

レモン汁を小鍋に移し、蜂蜜と水を加えて火にかける。沸とう直前に火からおろし、梅酒を加える。

●みかんとバナナ

〔材料〕

みかん中一個、バナナ1/2本、蜂蜜大さじ一杯、牛乳二〇cc

〔作り方〕

みかんとバナナの皮をむき、一緒にミキサーにかけます。それに蜂蜜と牛乳を加え、よく混ぜます。

※慢性的な便秘の人には、みかんとバナナを多くすれば効果的です。

(婦人会 清)